特定非営利活動法人日本雲南聯誼協会 令和 4 年度会務報告書

- ●総会員数 368 名(正会員 182、法人会員 32、賛助会員 21、夢基金会員 133) R5/3/31 現在 ※定款の会員資格に合致する会員数を表記しています。
- ●会報発行回数...3回(第80号、第81号、第82号、)
- ●メール通信配信回数...25 回

開催日時	活動内容	出席者氏名 (敬称略・順不同)
R4/5/20(金) (日本・東京)	東京本部にて 令和4年度 第1回理事会及び 役員顧問会	【理事】初鹿野惠蘭、遠藤功、大鷲修平、林則幸、中村有里子、野村孝志、神立めぐみ、森正一郎(委任状出席)、桂正徳(委任状出席) 【監事】佐伯義博 【顧問】小松道彦 【事務局(東京本部)】蘇鑫(昆明代表処首席代表)、熊寛(インターン生)、呉雨桐(雲南留学生)、金明花、黒沼明恵
6/11(土) (日本·東京)	東京本部にて 第22回定時総会	【理事】初鹿野惠蘭、遠藤功、林則幸、桂正徳、大鷲修平、中村有里子、野村孝志、森正一郎、神立めぐみ、初鹿野薫(委任状出席)、 【監事】佐伯義博 【会員】蘇鑫、委任状出席 96 名、書面議決権 16 名 合計 123 名 【事務局(東京本部)】黒沼明恵
8/19(金) (日本·東京)	東京本部にて 令和4年度 第2回理事会及び 役員顧問会	【理事】初鹿野惠蘭、遠藤功、大鷲修平、野村孝志、森正一郎、林則幸、初鹿野薫(委任状出席)、中村有里子(委任状出席)、桂正徳(委任状出席)、神立めぐみ(委任状出席)、松田雄馬(委任状出席) 【顧問】都筑信 【監事】佐伯義博 【事務局(東京本部)】蘇鑫(昆明代表処首席代表)、黒沼明恵
11/25(金) (日本·東京)	東京本部にて 令和4年度 第3回理事会及び 役員顧問会	【理事】初鹿野惠蘭、遠藤功、林則幸、神立めぐみ、初鹿野薫(委任状出席)、大鷲修平(委任状出席)、桂正徳(委任状出席)、中村有里子(委任状出席)、森正一郎(委任状出席)、松田雄馬(委任状出席) 【監事】佐伯義博 【顧問】小松道彦 【事務局(東京本部)】蘇鑫(昆明代表処首席代表)、宮本ももこ、黒沼明恵
R5/2/24(金) (日本·東京)	東京本部にて 令和4年度 第4回理事会及び 役員顧問会	【理事】初鹿野惠蘭、遠藤功、大鷲修平、野村孝志、神立めぐみ、林則幸、初鹿野薫(委任状出席)、中村有里子(委任状出席)、桂正徳(委任状出席)、森正一郎(委任状出席)、松田雄馬(委任状出席) 【監事】佐伯義博 【顧問】都筑信、東郷浩 【事務局(東京本部)】蘇鑫(昆明代表処首席代表)、黒沼明恵、宮本ももこ

(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

日中国交正常化 50 周年を迎えた令和 4 年度(2022 年度)も新型コロナウィルス感染拡大防止のため日本・雲南にて行動制限がありましたが、22 年間、日本と中国で培ってきた草の根の支援・交流を止めることなく、「コロナだからできる」ことを皆さまと一緒に考え、新しい試みにもチャレンジした 1 年でした。7 月には「日本雲南聯誼協会青年部」が発足し、次世代を担う若者の人材育成に取り組みました。令和 4 年度も変わらずご支援・ご協力いただきました全ての皆さまに心より厚く御礼申し上げます。

1. 協会主催・共催・後援関連行事

開催日時	活動内容	詳細/参加者氏名(順不同、敬称略)
R4/4/9(土)、 10 (日) (日本東京)	日中国交正常化 50 周年 Oneasia fes2022~日中文化交流フェスティバル~【協賛】	【場所】池袋西口公園野外劇場 グローバルリング シアター(東京都豊島区) 【主催】ワンアジアフェスティバル実行委員会 【支援】一般社団法人日本アジア共同体文化協力機構 【後援】外務省、豊島区、中国大使館、在日中国企業協会、一般社団法人 東京華僑総会、中国文化センター 【ボランティア協力】平田栄一、川口邦夫、羅群、宋愛平、龐茜、胡玉宇、阿日詩姑、張鐘恒、難波美雪、叶美香、劉芮彤、鄧蘭、李双旭、李季睿、成琳琳、高曼娥、潘璐、謝志婷、山下、藍藍、陳晨、岸川佳世、横山竜之介、趙勝宝、譚雅心、史経煜、袁高行、李凌语、海院衛、龍山ルル、末永千春、高橋ルナ、銭美琪、袁満、李凌子、裴悦徽、熊寛、滝澤崇 計46名 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、小松道彦顧問、林則幸理事、寺内明子大宮支部長、蘇鑫(昆明代表処首席代表) 計5名 2021年より開催されている同フェスティバルは日中国交正常化50周年を迎えた2022年は中国に関わる13の団体、企業、機関等が参加し開催されました。各出展者ブースでの活動紹介の他、福田康夫元内閣総理大臣、宮本雄二元中国大使ら著名人による講演、日中青少年アンバサダーの歌手や二胡奏者によるステージ等が行われ、協会協賛し、会員・ボランティアの皆さんのご協力により参加しました。
5/10(火) (日本東京)	第 38 回全国公募「墨美展」出席	初鹿野惠蘭理事長、林則幸理事、近藤釼一名古屋支部 長が墨美会主催の第38回全国公募「墨美展」に出席。 同会は故杉谷隆志専務理事が会長をつとめていた墨に よる友好と墨芸術の向上を目的としています。
5/24(火) (日本東京)	JYFA 青年部発足準備会議第 1 回開催	日本雲南聯誼協会「青年部」発足のため準備会議がリアルやオンラインにて7月の発足までに数回、行われました。 【場所】神保町 【参加者】井上正順(日中友好青年大使)、銭美琪(ボランティア)、季瑞穎(「25の小さな夢基金」里親サポーター、ボランティア)、呉雨桐(ボランティア)、熊寛(東京本部インターン生) 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理事、蘇鑫昆明代表処首席代表

5/27(金) (日本千葉)	株式会社ナンセイスチール様感謝状贈呈	協会の稻福誠顧問が会長をつとめ、劉国利顧問が取締役社長をつとめる株式会社ナンセイスチール様を訪問。 昨年度に続き教育支援への多大なるご支援をいただいたことに感謝するため、感謝状を贈呈しました。 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、蘇鑫(昆明代表処首席代表)
6/4(土)、 5(日)	長野県青木村 再訪問	アジア未来への人材育成プロジェクトの一環として 2014 に開始した「スタディーツアー」にて 2015 年に日本と雲南の若者たちが同村を訪問。学生たち自らが社会貢献プランを考えました。今回は青年部代表らが同村を再訪問し、今後の協働プランについて話し合いました。【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理事、蘇鑫(昆明代表処首席代表)
6/15 (水) (日本東京)	会報誌『彩雲の南』 第 80 号発送	【場所】東京本部事務所 【ボランティア協力】川口邦夫、滝澤崇、熊寛(東京本部インターン生) 計3名 【日本雲南聯誼協会より】蘇鑫(昆明代表処首席代表)、金明花、黒沼明恵(事務局)
7/3(日)、 4(月) (日本東京)	董紅俊日中青少年交流部長・名古屋会員・ 支援者ら東京本部来訪	名古屋を中心に活動を行っている名古屋支部の董紅俊日中青少年交流部長・会員・支援者の皆さんが、東京本部を訪問。今後の活動や支援に関して話し合いました。 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、董紅俊日中青少年交流部長、林則幸理事、蘇鑫昆明代表処首席代表、
7/20(水)- 28(日) (日本東京)	日中国交正常化 50 周年記念事業日本雲南聯誼協会設立 22 周年記念中国雲南省フェスティバル【共催】	雲南省の大自然や少数民族文化を紹介し、文化交流を 目的とした日本初の「中国・空の9日間、中国文化交流東京」が7月20日から28日までの9日間、中国文化た。 東京都港区)にて開催し、協会は共催しました。 20日に行われた開幕式には中華人民共和国駐日中の で来資や関係者が参列し、協会は共催の表達を着たわいる。 で来資や関係者が参列し、ででは、大変を着によるのでででででででででででは、大変でのでは、大変でのでは、大変でのでは、大変でのでは、大変でのでは、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変





務所、日中医薬及び新材料イノベーションセンター、-般社団法人 日中友好健康協会、一般社団法人在宅看護 センター彩り、新世界教育集団、株式会社ナンセイスチ ール、株式会社ハブ

【協力】株式会社技術評論社、昆明雲迪行為与健康研究 中心、雲南松果経済信息諮詢有限公司

【実行委員】委員長 初鹿野惠蘭 日本雲南聯誼協会理 事長、以下委員 小松道彦 日本アジア共同体文化協力機 構理事、日本雲南聯誼協会顧問、黄星原 日中友好会館 中国代表理事、秋山岳久 日本アジア共同体文化協力機 構事業部会長、林則幸 日本雲南聯誼協会理事、平田栄 - 日本雲南聯誼協会、羅玉線 中国文化センターセンタ 一長、井上正順(東京都日中友好協会・青年委員会委員 長)

【場所】中国文化センター(東京都港区)

【ボランティア協力】平田栄一、川口邦夫、林媛、宋愛 平、龐茜、井上正順、銭美琪、季瑞穎、芦名雪希、呉雨 桐、方雅娟、叶美香、岸川佳世、曹明秋、屠銀燕、郭麗、 山本佳弘、水田知希、松岡柊吾、的場舞、浅川莉恵那、 佐藤美奈、松岡咲希、田本麗美、佐古涼輔、山口大翔、 中野颯亮、劉詩穎、林依潔、何才明、鮑嘉蓉、樊秋菊、 厳悦欣、西村隆太郎、金芸穎、張鐘恒、余凱文、熊寛(東 京本部インターン生)、滝澤崇 計39名

【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理 事、中村有里子理事、森正一郎理事、神立めぐみ理事、 佐伯義博監事、小松道彦顧問、董紅俊日中青少年交流部 長、寺内明子大宮支部長、蘇鑫昆明代表処首席代表、金 明花、黒沼明恵(事務局) 計12名

日中国交正常化50周年認定事業 中国雲南省-日本ビジネス経済交流会 【共催】

8/4(木)(日本東京)



昆明会場と東京会場、参加者をオンラインで結び、日 本企業の雲南省への投資促進及び 雲南省民間企業 に よる 日本市場開拓に貢献し、企業の変革 と発展を支援 する経済交流会を開催。法人会員の株式会社スマイル等 が参加しました。

【主催】雲南省工商 業連合会、 雲南省 人民政府 外事 弁公室 、 一般社団法人 日本雲南総商会

【共催】雲南省駐日本東京商務代表処 、認定 NPO 法人 日本雲南聯誼協会

【後援】一般財団法人日中経済協会(予定)、日中投資 促進機構、株式会社みずほ銀行

【場所】学士会館(東京都千代田)、昆明会場、オンライン 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理 事、蘇鑫昆明代表処首席代表 計 3 名

【青年部より】呉雨桐、水田友希 計 2 名

9/15 (木) (日本東京) 会報誌『彩雲の南』 第81号発送



【場所】東京本部事務所

【ボランティア協力】川口邦夫、熊寛(東京本部インタ -ン生)、滝澤崇 計3名

【日本雲南聯誼協会より】黒沼明恵(事務局)

9/22 (木) (日本東京) 中華人民共和国成立 73 周年及び中日国交正 常化 50 周年祝賀レセプション

中華人民共和国成立73周年及び中日国交正常化50周 年を祝うレセプションが行われ、初鹿野惠蘭理事長が招 待を受け出席。

【場所】ホテルニューオータニ(東京都千代田区) 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長

 $9/24(\pm)-$ 25(目) (日本東京) 日中国交正常化50周年記念事業 日中交流フェスティバル 2022【共催】

両国の「関心と共感」を呼び青少年に交流の場の 提供を目的とし開催され、中国文化を紹介する団体 や店舗など27ブースが出展。初出展した協会も、 青年部を中心に共催し、教育支援や青年部の活動を 宣伝。少数民族衣装の試着やハンドクラフトの展示

	日中支流 を日中国企业协会 TOYOTA	で、多くの人に雲南の民族文化に興味を持ってもらいました。 【主催】日中国交正常化50周年記念事業日中交流フェスティバル2022実行委員会/一般財団法人日本アジア共同体文化協力機構 【場所】代々木公園イベント広場(東京都渋谷区) 【ボランティア協力】劉凱奇、汪清澈、杜娜、蒙妮、宋穎、張玄齢、曹明秋、水田知希、的場舞、劉佳雯、佐古涼輔、嶋崎蒼太、川口邦夫、萩谷佳恩、方雅娟 計15名【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理事、小松道彦顧問、蘇鑫昆明代表処首席代表 計4名
9/29 (木) (日本東京)	日中国交正常化 5 0 周年記念慶典 出席	日中国交正常化 50 周年を記念して当慶典が開催され、福田康夫元首相や孔鉉佑駐日大使をはじめ、日中政財界及び学識者、友好団体関係者等約1,400名が出席。 【場所】東京オペラシティ(東京都新宿区) 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、神立めぐみ理事 計2名
10/1(土)- 2(日) (日本東京)	国内最大級の国際協力の祭典 グルーバルフェスタ 2022【出展】	国内最大級の国際協力のイベント「グローバルフェスタ JAPAN2022」が3年ぶりにリアル会場にて開催され、協会は出展しました。当フェスタには国際協力や社会貢献に取り組む100以上のNPO、教育機関等が参加。協会はパソコンの液晶パネルで活動動画を放映し、たくさんの方に訪問していただきました。 【主催】グローバルフェスタ JAPAN2022 実行委員会 【場所】東京国際フォーラム ホール E2 【ボランティア協力】川口邦夫、曹明秋 計2名 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理事、蘇鑫昆明代表処首席代表 計3名
10/2(日) (日本福井)	福井グローバルフェスタ 2022【出展】	福井県は多文化共生推進プランにより、『多様性と 包摂性のある持続可能の社会』を実現するため10月 1日から30日まで「国際フェスティバル」を開催。 同2日には福井駅前広場に8か国のブースが出展し、 協会は福井の会員・ボランティアの皆さんの協力に より初めて参加しました。 【場所】ハピテラス(福井県福井市) 【ボランティア協力】劉穎、白華、唐佳惠、中村美寧、 呉淑敏 計5名
10/4(火) (日本神奈川)	日本雲南聯誼協会設立 22 周年記念大会 雲南省少数民族児童教育支援 第 17 回チャリティーゴルフコンペ 現地視察	チャリティーゴルフコンペのため、初鹿野理事長らが会場の津久井湖ゴルフ倶楽部を視察し、打ち合わせを行いました。 【場所】津久井湖ゴルフ倶楽部(神奈川県相模原市) 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、遠藤功副理事長、森正一郎理事、林則幸理事 計4名
10/9(日) (日本埼玉)	さいたま市国際ふれあいフェア 2022 【出展】	コロナ禍のため出展ブース数を少なくする等の対応がありましたが、大宮支部は会員・ボランティアの皆さんのご協力により当フェアに参加しました。 【主催】公益社団法人さいたま観光国際協会 【場所】JR 浦和駅前広場(埼玉県さいたま市) 【ボランティア協力】川口邦夫、大泉國雄、青柳茂樹、村上愛平、龐茜 横山晋、横山蓓、佐藤正典、森瞳、岡田有美、角田果鎂 計11名 【日本雲南聯誼協会より】寺内明子大宮支部長
10/23(日) (日本福井)	福井国際フェス ティバル 2022 【出展】	10月2日の「福井グローバルフェスタ 2022」に引き続き、「福井国際フェスティバル 2022」にも出展しました。 【場所】福井県国際交流会館(福井県福井市) 【ボランティア協力】朴成武、金海英、荷永玠、劉庭辰、劉雍沢元、唐佳惠、唐佳惠、渡辺寧佳、白艶梅、入場美

緒、白華、劉冬蓮、堀江吉美、呉淑敏 計14名

日本雲南聯誼協会設立 20 周年記念大会 雲南省少数民族貧困児童教育支援 第 17 回チャリティーゴルフコンペ【主催】





11/9(水) (日本神奈川)





あげおワールドフェア 2022【出展】

12/4(日) (日本埼玉)



日中国交正常化 50 周年記念 雲南省駐日本(東京)商務代表処開設記念 雲南省-日本経済懇談会【共催】

12/14(水) (日本東京)



昨年度と同じ会場の「津久井湖ゴルフ倶楽部」にて当コンペを開催しました。今回は下記の企業・団体様(株式会社ナンセイスチール、株式会社ハブ、源清田商事株式会社、株式会社優食、HUNTKEY JAPAN 株式会社、全日本鉄道労働組合総連合会(JR 総連)、新美商事株式会社、綿半ホールディングス株式会社、一般社団法人浙江総商会、日中商報、株式会社リンガーハット、鷹正宗株式会社、一般社団法人日本哈爾濱総商会、株式会社スマイル、青島啤酒股份有限公司、中国雲南酒膳坊「過橋米線」、京王プラザホテル、津久井湖ゴルフ倶楽部、共立総合整骨院、横浜機材株式会社、安東建設株式会社、東磐商事株式会社、一般社団法人日本雲南総商会、株式会社ピエナ・カーサ)から協賛金・協賛品をいただき、総額4,173,040円(株式会社ナンセイスチール様から300万円含)の温かいご寄付が集まりました。

【主催】認定 NPO 法人日本雲南聯誼協会

【場所】津久井湖ゴルフ倶楽部(神奈川県相模原市) 【参加数】20 組 77 名

【ご協力/ご寄付/ご協賛】(順不同、敬称略)

株式会社ナンセイスチール、株式会社ハブ、株式会社技術評論社、源清田商事株式会社、株式会社優食、HUNTKEY JAPAN 株式会社、全日本鉄道労働組合総連合会(JR 総連)、新美商事株式会社、綿半ホールディングス株式会社、一般社団法人浙江総商会、日中商報、株式会社リンガーハット、鷹正宗株式会社、一般社団法人日本哈爾濱総商会、株式会社スマイル、青島啤酒股份有限公司、中国雲南酒膳坊「過橋米線」、京王プラザホテル、津久井湖ゴルフ倶楽部、共立総合整骨院、横浜機材株式会社、安東建設株式会社、東磐商事株式会社、一般社団法人日本雲南総商会、株式会社ピエナ・カーサ、村田昭二、柳瀬允孝、武田正志、大木康隆 計 参加者の皆様

【ボランティア協力】龐茜、林媛、劉麗君、藤江林玲、 浅野月娥、鮑嘉蓉、呉躍俊、于舒馨、何婷、山本隆紀、 楊文敏、荆桂玉、王哲、大和慶吉、森園文恵、熊寛(東京 本部インターン生)、滝澤崇 計 17 名

【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、遠藤功副 理事長、稻福誠顧問、劉国利顧問、林則幸理事、寺内明 子大宮支部長、蘇鑫昆明代表処首席代表、宮本ももこ、 黒沼明恵(事務局) 計9名

コロナ禍により 3 年ぶりの開催となった当フェアに 大宮支部は会員・ボランティアの皆さんのご協力により 出展しました。

【場所】上尾市文化センター(埼玉県上尾市)

【ボランティア協力】ボランティア:鳥羽清弘、市川由 美子、川口邦夫、大泉國雄、小俣小輝、村上愛平、龐茜 計7名

【日本雲南聯誼協会より】寺内明子大宮支部長

【主催】雲南省商務庁、雲南省駐日本(東京)商務代表処 【共催】一般社団法人日本雲南総商会、認定 NPO 法人日 本雲南聯誼協会

【後援】中華人民共和国駐日本国大使館経済商務処 【場所】京王プラザホテル(東京都新宿区)

【参加者】中国関連企業・団体等から65名

懇談会:本館 42 階「富士」、懇親会:本館 42 階「高尾」 【ボランティア】林媛、季瑞穎(日中青年部部長)、井上 正順(日中青年部部長)、水田知希、荘司遥香、管晶、熊 寛(東京本部インターン生)、滝澤崇 計8名

【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理

		事、小松道彦顧問、劉国利顧問、蘇鑫昆明代表首席代表、 宮本ももこ、黒沼明恵(事務局) 計7名
12/20(水) (日本愛知)	愛知県立津島高等学校訪問	「25 の小さな夢基金」のオンライン交流会を行っている愛知県立津島高等学校を初鹿野惠蘭理事長と蘇鑫昆明代表処首席代表が初訪問し、同校の先生方にこれまでの交流会のお礼をお伝えし、今後のプログラムについて話し合いました。 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、蘇鑫昆明代表首席代表 計2名
R5/1/5(木) (日本東京)	キッツグループ 新年賀詞交歓会 出席	【場所】帝国ホテル東京(東京都千代田区) 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理 事 計2名 法人会員で清水雄輔顧問が名誉最高顧問を務める株式会社キッツを含むキッツグループの同会が3年ぶりに開催され、協会を代表として初鹿野惠蘭理事長と林則幸理事が出席。
1/6(金)- 9(月・祝) (日本愛知)	第 17 回名古屋中国春節祭【出展】	中部地区の華僑華人により 2007 年にスタートした当イベントに名古屋支部が初出展。会場では、中国グルメの屋台、獅子舞演舞などパフォーマンスを行うステージ、中国各地の特産品物販ブース、観光紹介や中国文化の体験ができる情報ブースが設けられ、中国本場の味・香り・感動を体感でき、のべ 18 万人が来場しました。名古屋支部は、協会と姉妹団体である一般社団法人 日本雲南総商会の活動と雲南の紹介を目的に参加し、ボランティアは民族衣装を着て、会報誌の配布や雲南特産品の販売など来場者と交流を行いました。 【ボランティア協力】羅時珍、陳秦銀、楊菊紅、趙青、李香善、李永朋、杜玲、大日向満治 計8名 【日本雲南聯誼協会より】董紅俊日中青少年交流部長
1/11(水) (日本東京)	J R 総連 2023 年 新年の集い 出席 「RKA」	【場所】ホテル雅叙園東京(東京都目黒区) 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、蘇鑫昆明代表首席代表、黒沼明恵(事務局) 計3名 法人会員の全日本鉄道労働組合総連合会(JR 総連)の同会が3年ぶりに開催され初鹿野惠蘭理事長はじめ3名が招待を受けが出席。
1/16(月) (日本東京)	会報誌『彩雲の南』第82号発送	【場所】東京本部事務所 【ボランティア協力】湯本洋平、斎藤裕紀子、白茹映雪、 周子昴、滝澤崇 計 5 名 【日本雲南聯誼協会より】黒沼明恵、宮本ももこ(事務 局)
1/18(水) (日本大阪)	中華人民共和国駐大阪領事館 迎春レセプション 出席	中華人民共和国駐大阪領事館主催の当レセプションに初鹿野惠蘭理事長らが招待を受け、出席しました。会場では雲南省外事務局と雲南省商務代表局、一般社団法人日本雲南総商会の協力のもと協会は雲南の特産品 PRブースを設け、プロモーションビデオを上映しました。【主催】中華人民共和国駐大阪総領事館【場所】ホテルニューオータニ大阪(大阪市)【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理事、蘇鑫昆明代表処首席代表
1/19(木) (日本大阪)	JR 東海労働組合新幹線関西地方本部 訪問	長年にわたりご支援・ご協力をいただいている法人会員の JR 東海労組組合様の新幹線関西地方本部を初鹿野惠蘭理事長らが訪問し、これまでのご支援のお礼をお伝えし、皆さんと交流しました。 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理事、蘇鑫昆明代表処首席代表

2/3(金) (日本東京) 東京女学館中学校社会貢献学習受け入れ



日中国交正常化 50 周年記念事業 Japan Festival 雲南 【共催・運営】





2/11(土)-12(日) (中国雲南)





東京女学館中学校社会貢献学習発表会

2/25(土) (日本東京)



昨年10月のグローバルフェスタ JAPAN2022 の協会ブースを訪れた東京女学館中学校3年生生徒5名が当校の「社会貢献学習」の一環として協会を訪れ、初鹿野惠蘭理事長らから協会活動や雲南についてのレクチャーを受け、民族衣装整理と衣裳のリスト化を行い、NPOの活動を体験しました。

【ボランティア協力】滝澤崇 計1名

【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理 事、蘇鑫昆明代表処首席代表

日中国交正常化 50 周年記念事業の一環として日中各地で「Japan Festival」や「チャイナ・フェスティバル」が開かれ、協会が主体となり昨年7月の日本初「中国雲南フェスティバル」、9月末の「日中文化交流フェスティバル」、12月の「日本雲南経済懇談会」が開かれました。

当 Japan Festival 雲南は、日産(中国)投資有限公司や麒麟投資有限公司等が協賛し、中国の日系企業や日本 11 県の物産などを紹介する 35 ブースが出展。2 日間で 5.5 万人が会場に訪れました。会場では日本の伝統的な茶道、華道などが披露され、オンラインでは協会青年部が雲南学生と繋がり、交流しました。

中国への入国解禁に伴い、3年ぶりに初鹿野理事長、 林理事、蘇鑫昆明代表処首席代表が2月8日から2週間、中国東方航空の成田〜昆明直行便で雲南省へ向かい ました。

【日程】2023年2月11日(土)~12日(日)

【場所】昆明海楽世界购物中心(雲南省昆明市)

【主催】ジャパン・フェスティバル 雲南実行委員会

【支援】一般財団法人日本アジア共同体文化協力機構

【運営】認定 NP0 法人日本雲南聯誼協会、特定非営利活動法人日本云南聯誼協会昆明代表処、株式会社シルク、昆明尋光織影文化産業有限公司、雲南育奉祥経貿株式会社

【後援】[日本側] 在重慶日本国総領事館、日本貿易振興機構(ジェトロ)成都事務所、日本国自治体国際化協会北京事務所(CLAIR)、一般社団法人日本雲南総商会、雲南日本商工会[中国側] 雲南省人民政府外事弁公室、雲南省商務庁、云南省駐日本(東京)商務代表処、雲南省商工連合会、昆明市文化和旅遊局、雲南省帰国華僑連合会、昆明市人民対外友好協会、昆明市帰国華僑連合会、昆明市海外聯誼会、昆明橋商連合会、一心堂葯業集団株式会社、餐飲与美食行業協会、雲南省駐日本商務代表処、雲南省文化産業発展促進会、雲南省駐日本商務代表処、雲南省普洱茶協会、雲南人家文化産業集団有限公司、哥斯拉(昆明)体育発展有限公司、昆明海楽世界購物中心【協賛】日産(中国)投資有限公司、麒麟(中国)投資有限公司

【ボランティア協力】陶子瑜、銭胤杉、肖詩垣、馬雲、屈文潔、朱宇凡、浦悦嘉、浦暁曦、張徐博巌、汪俊波、肖雪皓、馬文君、段青、包博宇、高夢、秦利菲、王鳴陽、李莎、戚暢顕、劉克寧、和小一 計 21 名

【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理 事、小松道彦顧問、蘇鑫昆明代表処首席代表、徐芸(昆 明代表処) 計5名

2/3(金)に東京本部にて実施された東京女学館中学の 社会貢献学習の発表会が同校で行われ、蘇鑫昆明代表処 首席代表が出席しました。

【場所】東京女学館中学校(東京都渋谷区)

【日本雲南聯誼協会より】蘇鑫昆明代表処首席代表

3/13(月) (日本東京)	中華人民共和国駐日本国大使館商務処「日雲春の交流会」【開催】	中華人民共和国駐日本国大使館経済商務処にて「日雲春の交流会」を開催。意見交換、協会との関わり等について話し、宋耀明公使より、宋耀明公使より、経済交流、雲南の魅力と展望をご紹介いただき、協会活動への理解と更なる支援強化を表明いただく等、深い交流ができました。 【場所】中華人民共和国駐日本国大使館経済商務処(東京都港区) 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理事、佐伯義博監事、米濵和英顧問、小松道彦顧問、稻福誠顧問、劉国利顧問、蘇鑫昆明代表処首席代表 計8名
3/23 (木) (日本東京)	一般社団法人東京華僑総会 呉江浩特命全権大使就任歓迎会【出席】	第 13 代中国駐日特命全権大使として着任した呉江浩・新大使の「就任歓迎会」に初鹿野惠蘭理事長が出席しました。当歓迎会では、華僑各界の代表 1 3 0 名余りが出席し、中国大使館から施泳公使と陳魏公使参事官兼総領事も出席しました。 【場所】東京華僑会館(東京都中央区) 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長

2.講演会等

開催日時	講演名/詳細/参加者氏名(順不同、敬称略)
R4/6/25(土) 中国雲南省・日本 各地オンライン)	「25の小さな夢基金」 第11回「夢は叶う」講演会オンライン開催 ~夢の実現に向かう少女たちへのメッセージ~ 【主催】認定 NPO 法人日本雲南聯誼協会 【共催】昆明市女子中学 【日程】6月25日(土) 【場所】昆明市女子中学 (雲南省昆明市)、多元会館(東京都港区)、参加者各地オンライン 【講師】徐静波様(ジャーナリスト) 【参加者】春菅生 1-2 年生、教職員、里親サポーター・協会会員・ボランティアの皆さん等 約150名 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理事、蘇鑫昆明代表処首席代表、徐芸(昆明代表処)、黒沼明恵(事務局)計5名 2009年に始まり、毎年、昆明市女子中学で開催していた「夢は叶う」講演会は新型コロナウィルスのため、令和3年度よりオンラインでの開催し、令和4年度もオンラインでの開催となりました。今回の講師は日中で活躍するジャーナリストの徐静波様で、テーマは「让人生充満无限可能性(無限の可能性に満ちた人生を)」。「若い時の苦労は恥ずかしいことではなく、夢をもって地道に努力すれば社会に対して必ず貢献できる」と激励してくださいました。また本語とトンパ語の比較分析、日本の漢字文化、日本の和服に潜んでいる雲南少数民族衣装の色彩文化、納豆文化等についてもお話しいただきました。
6/29(水) (日本東京)	多摩大学経営情報学部 特別授業 【場所】多摩大学経営情報学部(東京都多摩市) 【参加者】多摩大学経営情報学部学生 令和3年度より始まった多摩大学経営情報学部での初鹿野惠 蘭理事長の特別授業は令和4年度も行われました。同学部の趙 佑鎮教授の『志ゼミ』にて、関秀雄客員教授のご協力により初 鹿野惠蘭理事長の特別授業を行い、協会設立への思いや20年間の協会活動、コロナ禍で の新しい支援について話しました。

【ボランティア協力】滝澤崇、初鹿野仁 計2名 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野惠蘭理事長、林則幸理事 計2名

3. 教育支援活動

少数民族女子高生を1対1で支援する「25の小さな夢基金」では2022年6月に第14期生156名が卒業し、それぞれが希望する道へ進みました。同年9月には第17期生が入学。2006年以来、協会を通じて支援した生徒は1,400名超となりました。令和3年度より始まった昆明市女子中学と愛知県立津島高等学校のオンライン国際交流会を継続し、未来を担う若者たちが国際相互理解を深めるよい機会となっています。また、春蕾生を対象とした日本語授業も継続し日本との国際的な架け橋となる人材を育てています。東京本部では2012年に始まった「ア



ジア未来への人材育成プロジェクト」の一環であるインターンシッププログラムを積極的に行い、東京本部にて令和3年度から引き続き1名の留学生が参加しています。令和4年7月には日本雲南聯誼協会「青年部」が発足し、未来を担う日中の若者たちの人材育成をおこなっています。

発足し、未来を担う日中の若者たちの人材育成をおこなっています。					
日時・場所	活動内容・参加者(敬称略・順不同)				
R4 年度通年 (日本東京)	「アジア未来への人材育成プロジェクト」インターンシッププログラム・東京本部インターンシップ 【参加者】熊寛(中国・蘇州市出身、東洋大学2年生) 2012年に始まったインターンシッププログラムはこれまで東京本部・ 昆明代表処にて80名以上の学生が参加。文書作成作業などのオフィス 業務からプロジェクト・イベントの企画・運営まで幅広く行い、社会で 役立つ人材育成を行っております。 令和3年度から当プログラムに参加している熊さんが 令和4年度も引き続き参加しました。				
6/10(金) (中国雲南省)	「25 の小さな夢基金」第 16 期生 支援決定通知書贈呈 【場所】昆明市女子中学(雲南省昆明市) 2021 年 9 月入学の「25 の小さな夢基金」第 16 期生 75 名に 支援決定通知書を昆明代表処職員より手渡しました。				
令和 4 年度通年 (中国雲南省・東 京本部・愛知)	日中国交正常化 50 周年記念事業 「25 の小さな夢基金」昆明市女子中学×愛知県立津島高等 学校オンライン国際交流授業 【主催】認定 NPO 法人日本雲南聯誼協会 【共催】昆明市女子中学、愛知県立津島高等学校 【日程】3回目 5月20日(金) 【場所】昆明市女子中学(雲南省昆明市)、愛知県立津島高等学校、東京本部 【参加生徒数】5月20日 各校10名 「25 の小さな夢基金」里親サポーターで翻訳ボランティアとしても長年ご協力いただいている栗田久里子さんのご提案・ご協力により令和3年度に開始された「25 の小さな夢基金」春蕾生と愛知県立津島高等学校の生徒の皆さんとのオンライン国際交流授業。令和3 津島高等学校の生徒の皆さんとのオンライン国際交流授業。令和3				

年度は 11 月と 12 月に 1 回ずつ開催し、令和 4 年度も引き続き開催いたしました。愛知県立津島高等学校は海外との国際交流に力を入ており、今後も定期的にオンライン国際交流授業を行い、グロ

ーバルな視野を持つ人材育成に努めていきます。

「25 の小さな夢基金」日本語授業

【主催】認定 NPO 法人日本雲南聯誼協会

【場所】昆明市女子中学(雲南省昆明市)

【プログラム提携団体】桜にほんご学校(新世界教育集団) 昆明中心、雲南大学滇池学院日本語学科

春蕾生の日本語学習への興味をかきたて、異文化交流への意識を向上させるために令和 2 年度より始まった日本語授業を令和 4 年度も引き続いました。当プログラムは法人会員の新日桜株式

令和 4 年度通年 (中国雲南省)



会社の中国法人である桜にほんご学校(新世界教育集団)のカリキュラムと教材を使用し、雲南大学滇池学院日本語学科の皆さん、桜にほんご学校の日本語教師の皆さんのご協力により運営されています。

日本雲南聯誼協会日中青年部

令和4年7月24日、日中国交正常化50周年記念事業日本雲南聯誼協会設立22周年記念中国雲南省フェスティバルの開幕式にて日本雲南聯誼協会日中青年部の設立が発表されました。

青年部の活動理念は「若い世代が自分たちの才能を活かし、努力と実践によってより良い未来を創造していくこと」です。活動を通じて若者たちの相互理解と友好の架け橋とな

令和 4 年度通年 (日本・雲南) るとともに、各自の能力が発揮できる場になることを 願い、部員は日中両国の学生と若手社会人で構成され ています。

今後は言葉の壁を乗り越えて、相互理解を深め、さまざまな交流活動により友好的且つ平等な交流と対話を通じて、偏見や差別のない組織を構成し、さらに、日中両国の若者の心をつなぎ、多文化共生社会の実現に貢献し、より良い未来を創造していけるプラットフォームとして活躍の場を提供していきます。



4. 主な協会活動への参加者のべ人数

活動内容	活動地	回数/日数	人数(のべ/概算)
国際フェア等への出展	日本	8 回/14 日	【事業従事者】15 名 【ボランティア】108 名
協会(本部・支部)主催・共催イベント	日本 雲南	6 回/15 日	【事業従事者】38 【ボランティア】85 名
「25の小さな夢基金」、支援活動、事務局業務	日本雲南	通年事業	【事業従事者】7名 【協力者・ボランティア】5名
講演活動	日本	2回/2日	【事業従事者】7名 【協力者・ボランティア】2名

令和4年度(2022年度)に行われた日本聯誼協会の全ての活動 【事業内直接受益者数】60,000名(概算)

特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会正味財産増減計算書(令和4年度)

[税込](単位:円)

定非営利活動法人日本雲南聯誼協会 科 目	金	自 令和 4 年 4月 1日 3 : 額	
	112	HA.	
【受取会費】			
正会員受取会費		1,100,000	
法人会員受取会費		1,080,000	
賛助会員受取会費		221,000	2,401,0
【事業収入】			
(1) 日本及び中国の実地見学及び研修会・交流会等の実施		0	
(2) 日本及び中国の民族文化や科学技術及び農業技術の紹介		0	
(3) 中国の教育の推進を図る為の小学校建設支援		0	
(4) 日本及び中国の物産の紹介		0	
(5) 日本語及び中国語教室の開催		0	
(6) 日本及び中国の保健医療技術の紹介		0	
(7) 日本及び中国の環境保全技術の紹介		0	
【寄付金収入】			
寄付金収入		18,594,905	18,594,9
【受取助成金等】			-
受取助成金		2,000,000	2,000,0
【その他収益】			
受取利息		76	
雑収入		831	9
経常収益 計(A)			22,996,8
経常費用の部			
【事業費】			
(人件費)			
給料手当(事業)	1,212,000		
役員報酬(事業)	2,754,000		
臨時雇賃金(事業)	380,334		
法定福利費(事業)	751,698		
通勤交通費(事業)	325,860		
福利厚生費(事業)	132,486		
	5,556,378	5,556,378	
(その他経費)	3,330,370	3,330,370	
業務委託費	2,154,019		
広告宣伝費(事業)	145,470		
	596,503		
旅費交通費(事業)			
通信運搬費(事業)	132,869		
事務消耗品費(事業)	87,256		
賃借料(事業)	252,850		
租税公課(事業)	0		
支払手数料(事業)	23,158		
支払寄付金	4,062,614		
雑 費(事業)	0	- 454	
その他経費計	7,454,739	7,454,739	
事業費計		13,011,117	
【管理費】			
(人件費)			
給料手当	1,212,000		
役員報酬	306,000		
臨時雇用費	403,997		
法定福利費	387,390		
通勤費	111,780		
福利厚生費	488		
人件費計	2,421,655	2,421,655	
(その他経費)			
旅費交通費	78,912		
通信運搬費	110,559		
事務消耗品費	144,588		
広告宣伝費	315,868		
交際費	61,229		
諸会費	38,000		
租税公課	0		
支払手数料	27,500		
雑費	0		
	¥776,656	776,656	
管理費 計	, ,	3,198,311	
経常費用 計(B)		,,	16,209,4
当期経常増減額			6,787,3
【経常外収益】			5,. 5. /5
経常外収益 計(E)		0	
【経常外費用】			
* 雑損失	12		
<u> </u>	10,800		
週年及損益修正損 経常外費用 計(D)	10,800		10,8
程常外貨用 計 (D) 税引前当期正味財産増減額	10,012		6,776,5
			6,776,5
前期繰越正味財産額 (C) 月末正味財産合計額 (A)一(B)一(D)+(E)+(C)			8,534,4 15,311,0

令和4年度 会計収支の決算を致しました 令和5年3月31日 理事長 初鹿野 惠蘭 会 計 神立 めぐみ

令和 4 年度 (2022年) 収支計算書注記

注記1:会費納入率

会員種別	①年度初の 有効会員数	②年度中 の入会者	③年度中 の退会者	④年度末 有効会員数 ①+2-3	⑤期待収入額 (概算) ④×年会費	⑥年度末 収入	⑦納入率 (概算) ⑥÷⑤
正会員	222	9	31	182	¥ 1,092,000	¥ 1,100,000	100.7%
法人会員	38	1	5	32	¥ 576,000	¥ 1,080,000	187.5%
賛助会員	22	1	2	21	¥ 252,000	¥ 221,000	87.7%
計	282	11	38	255	¥ 1,920,000	¥ 2,401,000	125.1%

^{*}定款の会員資格に合致する会員数を表記しています。

注記2:寄付金の明細

(当法.	日本円)	

寄付内容	金額	構成比
一般寄付	¥1,294,071	7.00%
25の小さな夢基金	¥5,841,258	31.40%
教育支援	¥270,416	1.50%
チャリティーゴルフ寄付による就学支援	¥4,473,040	24.00%
雲南フェスティバル	¥430,000	2.30%
久留米·雲南教育基金	¥1,200,000	6.50%
日本雲南未来人材教育基金	¥5,000,000	26.90%
募金(ワンアジア・日中交流・グローバル・事務所内)	¥86,120	0.40%
合 計	¥18,594,905	100.00%

ーツ橋綜合財団助成金	¥2,000,000
合 計	¥2,000,000

注記3:決算科目および経費科目について

- ①人件費 代表理事1名、正職員1名、インターン生1名、臨時雇用1名→1名、有償ボランティア1名 従事割合により按分
- ②法定福利費・通勤交通費 代表理事1名、正職員1名 従事割合により按分
- ②業務委託費 昆明代表処経費(業務活動費、管理費、人件費)
- ④賃借料 各種イベントの保管倉庫代⇒2022.11に解約。以降保管スペースは㈱技術評論社より無償提供されています。
- ⑤支払寄附金 夢基金2021年度分1.2年生256名分。2022年度分2・3年生への支援金は、2023年度(2023.4.28)の送金となりました。
- ⑥交際費 慶弔費用、土産等10件
- ⑦通信費 事務所電話代を管理費・事業費に等分

注記4・事業費の主なプロジェクト別収支

注記4:事業質の主なフロンエ プロペータレタ		士山	加士羊蝽	
プロジェクト名	収入	支出	収支差額	備考
(1)日中実地見学、研修会、交流会				
文化交流	129,408	319,642	-193,468	収入:一般寄附金
	L	3,234	l	支出:人件費(上段)その他(通信費¥3,234)
経済交流	129,407	340,494	-237,840	収入:一般寄附金
	L	26,753	L	支出:人件費(上段)その他(広告宣伝費¥9,400、交通費¥10,880、通信費¥6,473)
アジア未来への人材育成	1,379,407	727,329	602,240	収入:一般寄附金•日本雲南未来人材育成基金
		49,838		支出:人件費(上段)その他(交通費¥43,744、通信費¥3,234、手数料¥2,860)
(2)日中民族文化、科学技術紹介				
各種講演会	129,407	310,784	-186,811	収入:一般寄附金
		5,434		支出:人件費(上段)その他(交通費¥1,100、通信費¥3,234、手数料¥1,100)
(3)中国の教育推進				
25の小さな夢基金	8,091,258	645,482	2,240,383	収入:夢基金、日本雲南未来人材育成基金、助成金
		5,205,393		支出:人件費(上段)その他(支払寄附金¥4,062,614、業務委託費¥1,077,010等)
教育支援	3,720,416	530,809	3,185,933	収入:教育支援寄附金、久留米·雲南教育基金、日本雲南未来人材育成基金、助成金
		3,674		支出:人件費(上段)その他(通信費¥3,234、手数料¥440)
(4)日中物産紹介 各イベント				
ワンアジア・雲南フェス・グローバル・日中交流フェス	5,629,735	2,681,838	1,870,148	収入:一般寄附金、チャリティゴルフ寄附金、雲南フェス寄附金、各募金箱
チャリティゴルフ・ジャパンフェス・名古屋春節		1,077,749		支出:人件費(上段)その他(交通費¥528,759、賃借料¥252,850、広告費¥136,070等)
(5)日中国語教室の開催				
春蕾生向け日本語授業	1,379,407	1,082,664	296,743	収入:日本雲南未来人材育成基金、一般寄附金
				支出:業務委託費¥1,077,009、手数料¥5,655
(6)日中保健医療				
実施せず				
(7)日中環境保全				
実施せず				
合計	20,588,445	13,011,117	7,577,328	

^{*}事業活動の詳細(個人情報を除く会計資料)は、本部事務所で公開していますので、お気軽に問合せ下さい。また、東京都生活文化局のNPO法人ポータルサイトでも公開しています。

^{*}複数口納入の法人会員の議決権は、一法人につき一議決となります。